

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービスさくらんぼ八戸				公表日	2025年 4月 4日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	1	十分なスペースは確保できている	クールダウンや午睡、個別活動が重なると足りない場合がある。パーテーションなどでも限界を感じている。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	0	児童人数に対し、十分な職員配置をしている。	今後も継続していく
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	1	児童への提示は、文字が読めない児童への配慮としてイラストなどを入れながらわかりやすく提示している。	玄関をはじめとして数か所に段差があるため、物理的には完全なバリアフリーとはなっていない。社会的・心理的バリアはないように心がけていく
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	0	整理整頓を心がけ、消毒や換気も徹底している	今後も継続していく
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	0	必要に応じて場所の変更を行い対応している	今後も継続していく
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7	0	毎月の振り返りを専用シートを使って行い、自己の振り返りと目標管理に利用している。また、適宜面談を行い、意見があれば改善も検討している	今後も継続していく
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	評価表をはじめとし送迎時のお話やLINE、電話、担当者会議等で把握し、職員間で共有している	今後も継続していく
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	問6での振り返りシートをはじめ、面談やミーティングで意見を募り改善に努めている	今後も継続していく
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	3	第三者評価は現在行っていないものの、法人顧問及び法人本部より業務指導やアドバイスを受けている。	今後も継続していく
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0	社内研修にて法定研修をはじめとして研修を行い、資質向上を図るため各種研修の案内を行っている	受講機会もだが、書籍をはじめとして積極的に取り組める環境設定を行っていく
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0	年度内に作成し、ホームページにて公表している。今後、多媒体も変更予定	今後も継続していく
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7	0	児童の状態に合わせたツールを使用してアセスメントを行い、適切な時期に評価を行い計画を作成している	今後も継続していく
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0	担当者会議のもと、保護者及び本人の意向を踏まえ、検討を行っている。	今後も継続していく
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0	計画書は書庫に保管し、個人個人でファイリングを行い確認できるようにしている。周知を行い、同じ方向性を持って支援を行っている。	今後も継続していく
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	0	児童の発達段階に合わせた複数のツールを使用し確認と評価を行っている	今後も継続していく
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0	具体的な支援内容を設定することで、一例ながらも動きや理解の一助となり、支援の具体性がとれている。	今後も継続していく
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0	担当者を中心に月替わりで立案を行っている。時には児童の意見も取り入れることで、満足性の高い活動の提案が行えている	今後も継続していく
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0	季節に合ったものや地域行事にも積極的に参加している。	今後も継続していく
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7	0	得意、不得意を考慮し組み合わせ支援を行っている。	年度変化する状況をスタッフや家族へ聞き取りを行い、支援に反映できるように努めていく

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0	前日から活動前までに児童情報の共有を行い、役割分担や見守り児童の共有を行っている。	今後も継続していく
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	0	当日の反省点は教室ごとのSNSにて情報共有を行い、必要時はミーティング等で意見交換を行っている	今後も継続していく
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	支援記録にて気づいたことなどはすぐさま共有できるような体制ができています	今後も継続していく
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0	計画は適宜見直しとアセスメントを行い、見直しを行っている	今後も継続していく
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0	主に児発管が参加し、情報共有を行っている	今後も継続していく
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	0	行っている	今後も継続していく
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	0	移行支援会議等を行わない、相互理解を図っている	今後も継続していく
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	0	図っている	今後も継続していく
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	7	0	連携を図り機会を設けることはできている	今後も継続していく
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	7	0	園での交流事業は行っていないが地域行事に参加するあたり機会は得ている	今後も継続していく
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	送迎時や管理者直通の電話などで近況や課題について話し合い、共通理解のもと計画書の作成を行っている	今後も継続していく
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	0	実際の家族支援プログラムは行っていないが、情報提供は広く提示している	今後も継続していく
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0	見学や契約時にも説明を行うとともに、見やすく取りやすい位置に冊子を準備している。	今後も継続していく
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0	担当者会議での意見聴取をはじめ、意向確認は日頃より行っている	今後も継続していく
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7	0	同意を得ている	今後も継続していく
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0	SNSを利用した相談窓口を設置しており、希望時には面談等もしている	今後も継続していく
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7	0	主催や共催は行っていないが、交流の機会等に制限は設けず介入もしていない	今後も継続していく
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0	対応している	今後も継続していく

	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7	0	活動予定は月ごとのカレンダーを作成し、配布している。また広くSNSやHPで発信している	今後も継続していく
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0	個人情報はファイリングして鍵付き書庫に保管を行っている。また顔写真等は同意を得たもののみ掲載し、配慮に努めている。	今後も継続していく
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0	読みやすい文字や、絵カードを使って意思疎通のための配慮に努めている。	今後も継続していく
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7	0	招待は行っていないが、おすそ分けなどの配慮にも努めより良い関係性を維持できている	今後も継続していく
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0	各種マニュアルを整備し、必要な仮想訓練も行っている。	今後も継続していく
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0	災害発生に備えた訓練と、役割分担、備蓄の確認と必要物品の整理を随時行っている	今後も継続していく
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	0	契約時に確認し、都度情報交換を行うことで情報の更新を行っている。また服薬については服薬依頼書を作成し、服薬のサポートを行っている	今後も継続していく
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	0	現在アレルギーの対象児童はいないが、必要時は可能な限りの対応と出来る出来ないの説明・同意も行っている	今後も継続していく
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0	計画を作成し、必要な提言や注意喚起、訓練を都度行っている。	今後も継続していく
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	0	安全計画作成時に家族へ周知し、連携等が図れるようにしている	今後も継続していく
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0	ヒヤリハットは事業所内及び法人内で共有し、都度検討を行っている。	今後も継続していく
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	虐待防止及び身体拘束訂正化委員会で研修やセルフチェック等のスケジューリングを行い、実施している	今後も継続していく
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7	0	虐待防止及び身体拘束訂正化委員会で決定事項を説明、同意を得たうえで、別紙記載を行い、必要時は記録もとっている。また、事例情報のもと、支援検討も都度行っている	今後も継続していく